

2026年7月24日

株式会社アドバンスト・メディカル・ケア

男性型脱毛症(MAGA)に対する マイクログラフト/自己頭皮組織移植療法と他家乳歯歯髄幹細胞培養上清液 併用療法の有効性評価

トリコスコピー定量評価システム(QTES®)^{※1}による治療反応性と非反応性を可視化
ー東京ミッドタウン皮膚科形成外科 Noage(ノアーヂュ)院長 上島朋子医師ー

リゾートトラスト株式会社のグループ企業である株式会社アドバンスト・メディカル・ケア(東京都港区、代表取締役社長:古川哲也)が運営支援を行う東京ミッドタウン皮膚科形成外科 Noage(ノアーヂュ)院長上島朋子医師による「男性型脱毛症(MAGA)に対するマイクログラフト/自己頭皮組織移植療法と他家乳歯歯髄幹細胞培養上清液 併用療法の有効性評価」が、オンラインジャーナル美容皮膚・ヒト臨床ジャーナル「Journal of Cosmetic Dermatology (JCD)」 2026 年 6 月号に掲載^{※2}されました。
(<http://dx.doi.org/10.1111/jocd.70982>)

【研究成果】

- ・本研究では、男性型脱毛症(MAGA) (n=59) に対して、マイクログラフト/自己頭皮組織移植療法(MG) 1 回と他家乳歯歯髄幹細胞培養上清液(SHED-CM) 4回を併用した治療を行い、12か月後にトリコスコピー(QTES®)による定量評価を実施。全体の69.5%で改善が認められ、重篤な有害事象は確認されなかった。
- ・改善群では毛径および毛包単位内毛髪数(HN/FU)の増加が認められた一方で、非改善群ではHN/FUの減少が観察された。なお、従来から治療効果の指標として用いられてきた毛密度については、改善群・非改善群いずれにおいても統計学的有意な変化が認められず、密度指標のみでは治療効果を適切に評価できない可能性が示唆された。
- ・本研究では、単に治療効果を示しただけでなく、QTES®が毛径、HN/FUの複合評価指標として機能する可能性がある点と、「治療に反応する＝効く患者」と「治療に反応しない＝効かない患者」を見分ける治療反応マーカーとしても、有用である可能性がある点に新規性がある。

AGAの治療戦略は、これまで毛径や毛密度の改善を中心としてきました。しかし今後は毛包単位という構造にも着目し、その構造を評価、モニタリングしながら治療をするという新たな視点を取り入れることで、育毛治療のさらなる発展につながる可能性があると考えられます。

※1トリコスコピー定量評価システム Quantitative Trichoscopic Evaluation System QTES®:

複数の毛髪指標(毛径・毛包構造・毛密度など)を統合した6段階評価で、視覚的改善と最も高く相関する新しい発毛評価指標。

※2 論文タイトル:

Hair Number per Follicular Unit as a Marker of Treatment Response to Combined Autologous Scalp-Derived Micrografts and Allogeneic SHED-CM in Male Androgenetic Alopecia

<参考情報:試験方法>

対象者:日本人男性脱毛症患者様59名※3(頂部脱毛)

※3 東京ミッドタウン皮膚科形成外科Noage(ノアーヂュ)受診患者様試験期

間:2021年 10月から 2025 年 3 月

使用した統計解析:非正規分布を前提としたノンパラメトリック統計解析を採用

相関・群間比較・前後比較を組み合わせた多面的解析

有意水準は $p < 0.05$

評価者間一致率はICCで評価し、高い一致性を確認

【症例】

被験者:55歳男性

治療内容:マイクログラフト/自己頭皮組織移植療法(MG)1回と他家乳歯歯髄幹細胞培養上清液(SHED-CM)4回

治療期間:12か月

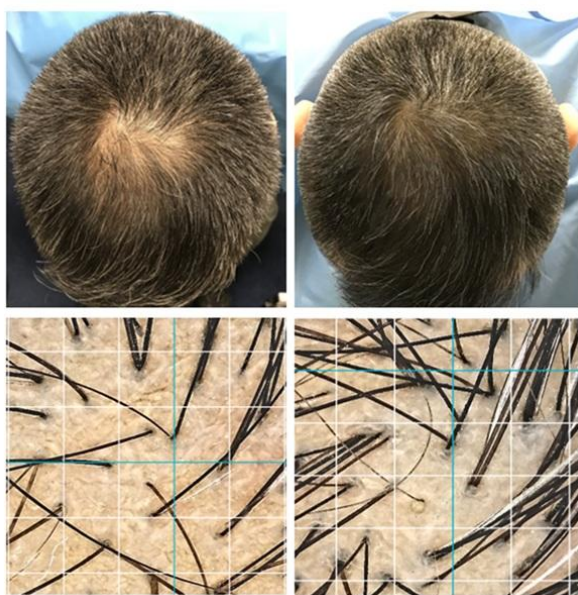
結果:一般的な指標(ハミルトンノーウッド分類) 治療前 III → 治療後 II

トリコスコピー複合指標による客観的評価(QTES®)

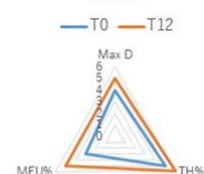
指標	Total 点数化合計	MaxD μm 最大毛径(3本平均)	TH% 硬毛(太い毛)比率	MFU% 1つの毛穴から複数の毛が生えている割合	THC 毛総数
治療前	12	86.7	65.2	48.3	46
治療後	16	100.0	75.4	74.2	69

見た目の変化(ハミルトンノーウッド分類)とトリコスコピー複合指標(QTES®)で評価したところ、太い毛が増え、毛包単位※4から生えている毛髪数が増えた。

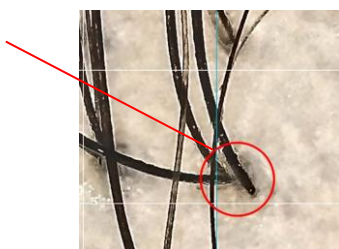
この詳細な変化は、本人の自覚よりも早期に現れるため、治療効果の有無や治療方針の決定に役立つ。



Composite QTES Score 12→16



※4 毛包単位(FU)



【医師紹介】



上島 朋子(かみしま・ともこ)

医学博士

東京ミッドタウン皮膚科形成外科Noage(ノアージュ)院長

病理学の研究を経て皮膚科医になった経歴から、「肌」という繊細な臓器をまずしっかりと見つめ治療・施術をご提供することをモットーとする。「肌の健やかな美しさ」にこだわり、疾患の治療から先端美容医療、そして再生医療の研究まで手がける。

1992 年新潟大学医学部卒業。1996 年新潟大学大学院修了。東邦大学医学部大森病院、栃木県立がんセンター、財団法人鎌倉病院皮膚科部長を経て 1999 年より 10 年間、神奈川美容外科クリニックに非常勤医師として勤務。2016 年 8 月より東京ミッドタウン皮膚科形成外科 Noage(ノアージュ)勤務、2018 年 5 月より院長に就任。

<所属学会>

日本皮膚科学会／日本美容皮膚科学会／日本再生医療学会

【東京ミッドタウン皮膚科形成外科 Noage(ノアージュ)】

- ・所在地: 〒107-6206 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー6F
- ・TEL : 03-5413-0082(月～金 10:00～19:00、土・祝 10:00～18:00)
- ・院長 : 上島 朋子(かみしまともこ)
- ・URL : <https://www.noage-amc.com/>

【株式会社アドバンスト・メディカル・ケア】

会員制ホテル事業などを展開するリゾートトラスト株式会社のグループ企業。東京ミッドタウンクリニックをはじめ、全国の医療施設のプロデュースを行い、日本の長寿社会において“より健康に”“より美しく”生きるためのベストソリューションを提案。メディカルサービスだけではなく、医師監修による高付加価値サプリメントや、化粧品開発、さらにフェムテック/フェムケア商品の開発など、積極的に取り組んでいます。

- ・所在地: 〒107-6206 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー6F
- ・設立 : 2006 年 2 月
- ・代表者: 代表取締役社長 古川 哲也
- ・資本金: 200,000,000 円
- ・主な業務内容: 医療施設の運営支援ならびにサプリメント・化粧品の企画、販売など
- ・URL: <https://www.amcare.co.jp/>
- ・

■株式会社アドバンスト・メディカル・ケア運営の女性医療サイト「アイラシイ」: <https://www.ilacy.jp/>

【メディア関係者お問合せ先】

株式会社アドバンスト・メディカル・ケア 広報課

E-Mail : pr@tokyomidtown-mc.jp

※本リリースに記載している内容は発表時点のものであり、最新の情報とは異なる場合がございますのでご了承ください。

※本リリースの内容やデータ等、メディア掲載以外の二次利用はご遠慮ください。